教育目標「進んで学び　豊かな心で　やり抜く子」

南魚沼市立栃窪小学校　　令和8年10月28日（水）　第9号

栃窪小だより

学校ホームページ

合同文化祭　ありがとうございました！



10日（土）合同文化祭の際には、たくさんの温かな拍手をありがとうございました。多くの方から作品をお貸しいただいたことでより豪華な文化祭となりました。また、保護者の皆さまからはすてきな発表をしていただき、子どもたちの発表と合わせ、とても楽しい時間となりました。地域の皆さま、保護者の皆さまに重ねてお礼申し上げます。



第2部では、南魚沼市出身の信田さんのミニライブを開催しました。圧倒的なパフォーマンスを披露いただき、心を奪われた方がたくさんいらしたことと思います。

第2部終了後、子どもたちによる「作品説明」や、DVD『明治の学び舎　栃窪尋常小学校（1999年TBSにて放送）』を上映しました。昨年より「草刈りアート写真展」、今年度から「栃窪写真フェス」も開催しました。たくさんお方から励ましの言葉をいただきました。ありがとうございました。



当日を迎えるまで休み時間を使って一生懸命練習した子。その練習にいつも付き合ってくれた上級生。お母さんの夢を背負って演奏した子。自分たちの練習風景を動画で撮影して、よりよい表現を工夫し練習した学級…。一人一人の思いや願いが、観客の皆様に少しでも届いていたら幸いです。今回いただいた温かい拍手を胸に、これからも子どもたちと共に、一歩ずつ前に進んでいきたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



地域とつながる大切な行事、文化祭。よりよいものにしていきたいと考えておりますので、今年度の合同文化祭について忌憚のないご意見をいただけるとありがたいです。



ご参加いただいた皆さま、作品を提供してくださった皆さま、合同文化祭を支えてくださった皆さまに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

R8 キャッチフレーズ「Version Change」

～子どもが失敗を恐れず挑戦するために大人ができること～

社会の大きな変化（society5.0）や予測困難な未来（VUCA 時代）を生きる子どもたちに付けたい力、その重要性について PTA 総会の際にお話しさせていただきました。

失敗を恐れず挑戦するたくましさ（身体的・精神的）と、それを支える自己効力感を育むために大人ができることはたくさんあります。その一部を紹介します。

① 無条件の愛情と受容

・ありのままを受け入れ、「あなたは大切な存在」「そのままのあなたが大好き」という気持ちを常に言葉や態度（抱きしめたり一緒に遊んだり）で伝えることです。

・「話をしっかり聞いてもらえている（「うんうん」「そうなんだね」や相槌）」という「受け入れられている」と感じる体験の積み重ねが、安定した心の育成に大きく寄与します。

② 成功体験を積み重ねる

・結果ではなく、そこに至るまでの「過程」を認めます。結果のみ褒めている（結果ばかりに焦点を当てている）と、失敗を恐れる子どもになるそうです。

③ 役割と責任を与える

・お手伝いを頼み「ありがとう」を伝えることで、「自分は役に立っている」という気持ちや「“相手の喜び・感謝”に満足感を得られる（ご褒美という“物自体”に対する価値ではなく）」心が育っていきます。

④ ポジティブな言葉がけ

・失敗を責め「なんでできないの」「だめじゃない」では自尊感情を傷つけ、自力で前に進もうとする力は育まれません。「次にどうしたらよいか」に導き、必要に応じて一緒に探してあげることで「失敗＜挑戦」の心が育まれます。

⑤ 適切な距離感で見守る

・本人の力だけで解決できないときのサポートは大切ですが、まずは自分で解決できるよう見守ることも大切です。自分でできたという成功体験の積み重ねが挑戦する心を育てます。

今年度、学校ではこの記載以外にも、次のことを重視していきます。

⑥ 子どもの主体性を育む

・授業や様々な活動を通して、自分で選ぶ、自分で決める、自分からチャレンジする機会を増やしていきます。

⑦ 役割を与える

・当番活動やサークル活動などを通して、責任感と達成感を育み「自分は役に立っている」という感覚を高めます。

⑧ 保護者との連携

・お子さんのよいところを共有し、家庭でお子さんに声がけできるようにします。

⑨ 教員自身の自己効力感を高める

・当校教職員の自己効力感が高いことは、子どもに安心感とよい影響を与えます。

気になることがあり、昨年度学校だよりから再掲しました。「注意や指摘をされると自分を否定されたと感じる」「どうせできないと考え、少しも試そうとしない」「他責思考が強く、攻撃的な言動をとる」など。現在、自分の気持ちとの向き合い方や相談方法などについて小島養護教諭が様々な取組を行っています。「他者との良好な関わり方」とともに「自分自身との良好な関わり方」について学び、自分の力を信じ、チャレンジしていく姿を期待しています。



栃窪すごくイイ話⑤　65 年ぶりの再会

「先生、お元気ですか」「先生の良い香り、今も覚えています」―。

さわやかな秋の空が広がった10月17日、栃窪小学校の校門でうれしそうな声が響きました。

声を上げていたのは、65 年前の栃窪小学生です。その中には児童のみなさんが放課後子ども教室でお世話になっている笛木さんもいました。東京都や長岡市、湯沢町から駆け付けた人もいました。

人の輪の中心にいたのは、昭和36（1961）年から3年間、新人の先生として栃窪小学校で教え、今は新潟市で暮らす松子先生でした。当時は笛木健作さんも先生として一緒に働いていました。

今回、上田先生が栃窪小学校を訪れたのは、教頭先生が松子先生のご家族と会合で一緒になったことをきっかけに実現しました。実に65年ぶりの教え子との再会でした。

「素直でまっすぐな子どもたち。キラキラした目で先生、先生ってしたってくれたの」。上田先生は当時をかみしめるように振り返ります。「すべてを吸収する子どもたちに、誠心誠意向き合った。やりがいがありました」。子どもに真剣に向き合った栃窪小学校の毎日は、今も色鮮やかな思い出として残っていると言います。

歳月が経っても、先生と教え子の関係は変わりませんでした。当時の“やんちゃ坊主”が家族の写真を見せながら「これが息子たち。孫もいます」と背広姿の姿勢を正すと、上田先生は「がんばったね」と大きくうなずいて応えました。

「今もまだキラキラしている」と上田先生は教え子たちを見つめます。「みんな成長して、人生を立派に生きていますね」とさらに目を細めました。

お別れの時間、上田先生は教え子の手を握り、肩を抱いて、「がんばってね、またね」と繰り返しました。栃窪小学校前の坂道を登っていく恩師の車に、教え子たちは「お元気で」「がんばります」と伝えるように手を振り続けました。

※栃窪小 HP 内「こぼれ話」で交流の様子を写真で振り返ります。



【11月の行事予定】

1	**日**	**オープンスクール（軽トラ市米販売）9:00～**
2	月	振替休業日
3	火	文化の日
4	水	秋の読書旬間（～17日）
8	**日**	**育成会　秋のクリーン作戦　8:30～**
11	水	わくわく朝会
12	木	フッ化物洗口　サークル活動
13	金	歯と口の健康教室
19	木	フッ化物洗口　クラブ活動⑥
23	月	勤労感謝の日
25	水	フッ化物洗口　道徳p4c
26	木	塩小フェスティバル参加

太字の行事について…
皆様からのご参加お待ちしています！
気軽に学校（782-0744）までお声がけください。



＜最近のホットニュース＞

脱穀や新米試食、遠足など、写真と共にHPに載せてあります。合わせてご覧ください。

その1：“栃っこ米”の新米をみんなで試食しました！

笛木亨さんが昔の脱穀機を持ってきてくださり、全校で脱穀体験をしました。脱穀機の使い方が上手になると共に、昔の暮らしに思いを馳せていた子どもたちでした。翌日、その脱穀した米を亨さんが早速精米してくださいましたので、すぐにいただきました！　このおいしさを販売の際には、がんばって伝えてくれることと思います。

その2：南魚沼市公式フェイスブックに載りました！

栃窪のよさを再発見するべく春から取り組んでいる「栃窪写真フェス」。とっておきの1枚を市の「南魚沼フォトギャラリー」に応募したところ、公式フェイスブックにそのことが載りました。後日、撮影風景も掲載されました。是非ともご覧ください。応募作品は市のHPに載っています。応募作品は、どこかで使ってもらえるかもしれません…。

その3：遠足でも秋も味覚を楽しみました！

今回の遠足は「八色の森公園」でした。昨年同様、自分で切符を買うところからスタートです。今回は「草刈りアート」で知り合った「牛木きのこ園　山本康之さん」も見学させていただきました。収穫したり試食したりと大満足な見学でした。越後ワイナリーで雪室を見学し、ブドウのお土産物もいただきました。たくさんのすてきな出会いのあった遠足となりました。お世話になりました。

※日常の様子をすてきな写真とともに、日々ホームページにアップしています。題字右脇、二次元コードからすぐに入ることができます。子どもたちの様子、職員のがんばり、栃窪すごくイイ話「こぼれ話」「栃窪写真フェス」など是非ご覧いただきたいと思います。